

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:2021年3月4日

事業所名 Plus+days

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		日々のミーティングで共有しているものの、参加していないスタッフがいると難しい
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HP上で公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後要検討
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に障がい特性についてや、感染症対策についてスタッフ研修を行っている。参加できなかったスタッフには資料を配布し、周知研修情報も周知し、参加を促している	外部研修の参加は個人の意思によるものなので、事業所内研修の頻度を増やし、事業所内全員で質の向上を目指していく必要がある	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		今後、発達検査等の客観的な基準を用いて評価していく必要がある
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		実施するイベントについてミーティングを行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		担当するスタッフが固定化しないようにしている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		今後、長期休暇の過ごし方や平日の過ごし方について細かく課題を設定していく必要があると感じている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		前日の終礼時に確認するものの、支援内容についての打合わせは日ごとに異なる
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		サービス提供後に終礼を行い、情報共有に努めている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳以外にも取り組んだ課題をファイリングし、活動が固定化しないように努めている	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		必要に応じて3か月～6ヶ月毎にモニタリングを行っている		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		障がい児相談支援事業所を利用している方が少なく、担当者会議もほとんどない
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		新規契約者が発生した際には学校へ連絡を取り、引き継ぎ方法や下校時刻等の連絡調整を行っている	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今後要検討
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		該当者がいないため、今後要検討
	24	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加している	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルス感染症対策のため、活動機会を減らしている
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている				連絡帳への記載だけではなく、送迎時に保護者に1日の様子を口頭で伝えている
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後要検討
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		説明後に不明な点がないかその場で確認し、納得した状態で利用していただけるようにしている	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		新型コロナウイルス感染症の影響をみながら、来年度より実施予定
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Facebookのほか、月に1度通信を発行し、各家庭に配布している	
	34	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫にて保管し、持ち出し厳禁としている	
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子ども達に対して視覚的なツールを用いたり、ハンドサインを用いたりしてコミュニケーションを図っている	
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		新型コロナウイルス感染症対策のため、出来ていない今後、オンライン等の形で検討する

非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		策定はしているが、周知には疑問が残る
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		十分とはいえない
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		十分とはいえない
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	重要事項説明書にて身体拘束を行うケースについて記載している	身体拘束を行う必要がないので、個別支援計画には記載していない
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	担当医の指示書の提示を求めているが、完全除去や食事の際の個別対応等にて誤食が起きないように配慮している	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			作成しているが、スタッフ間への共有については課題が残る